

## メキシコにおける日本語教育

渡邊航大

埼玉県日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画を通じて、昨年8月からメキシコに留学させて頂いています、渡邊航大と申します。個人的な話になってしまいますが、日本の大学では、外国人の方に向けた日本語教育を少し学び、ボランティアとしても活動していました。今回この留学プログラムに参加を希望させていただいたのも、スペイン語の学習と、それを活かした日本語教育の実践が目的でした。日本語の文法や語感の説明また、スペイン語学習者のミスを支那の文法の違から理解するために、到着から集中してスペイン語を勉強してきました。まだまだ十分とは言えませんが、ある程度のスペイン語が理解できるようになってきたので、最近メキシコシティの日本語教育に見学という形ではあります、少し参加させて頂いております。今回はこちらの日本語教育について少し書きたいと思ひます。

あまり知られていませんが、メキシコは日本語学習者がスペイン語圏で最も多い国です。アメリカに近く、関係も深いことから英語を勉強している、または話せる人は非常に多く、日本人のように外国語学習に関してあまり苦手意識はないようです。近年、自動車産業を中心に日本企業が次々にメキシコに進出しています。シティでは、日本食のレストランが当たり前のように存在しています（日本食と言えないようなものもありますが…）。長年の友好関係に加え、商業的な関係も強まり日本語の学習意欲も高まっているようです。実際に友人は、日本企業への入社を目指し日本語を学んでいます。遠く離れた外国でも日本語を学んでいる学生に会うと、やはり嬉しいものですね。

また最近、日本語を学ぶ大きな動機になっているのが漫画やアニメ、音楽などです。アニメのセリフを質問してくる学生もいます。アニメ等は、日本での放送と同時にメキシコで見られるサービスもあり、オープニングに使用された楽曲などはその日のうちに翻訳されます。サブカルチャーは、日本の文化や音楽に触れるきっかけにもなっています。好きな音楽を聞くとたいていアニメなどで使用された楽曲を答える学習者が多いです。

ちなみに、メキシコ人に埼玉と言ってもほとんど通じませんが、埼玉県が舞台のアニメを見たメキシコ人には非常に興味を持ってもらえます。近い将来埼玉県を観光したいからガイドしてくれないかと頼まれたこともあり、こちらでアニメ等がいかに重要な役割を果たしているかがわかります。

学習意欲が高い一方で日本語教員や教材等は非常に不足していると感じます。見学させていただいた語学学校には、日本人の教員はほとんどいませんでした。実際にこのプログラムの終了後、日本語教師として働かないかと誘われたこともあります。また教材等もあまりバリエーションがありません。日本語で書かれた本を購入するのもかなり限られた場所に行く必要があります。また実際に売られている本も保存状態がかなり悪かったり、非常に古いものであったりと日本語の学習意欲が高い現状に対して環境が追いついていないように感じます。

まだまだ授業に少し参加させていただいている状態なのですが、帰国までの限られた期間でこちらの現状を体験し、日本で学んだことを少しでも活かすことを目標にしていきたいと思います。また日本語教師や教育に興味がある方は、ぜひメキシコに足を運んでいただけたらうれしいです。